

公 式 試 合 記 録



公益社団法人

日本ホッケー協会

令和6年度 第56回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号	試合日	開始時間	種別/プール/回戦	試合会場
20	2024年12月23日	14:30	男子/準々決勝	川崎重工ホッケースタジアムA

チーム名 天理高等学校	0	0 0 0 0	1 Q 2 Q 3 Q 4 Q	0 0 0 2	2	チーム名 鳥取県立八頭高等学校
----------------	---	------------------	--------------------------	------------------	---	--------------------

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
レ	1	難波 祐 GK			
レ	2	喜多 琉雄斗			
レ	3	佐藤 彰斗			
レ	4	鈴木 智大			
レ	5	曽根 友之輔			
レ	6	中井 一希			
レ	7	平尾 龍太郎 C			
レ	8	永井 登士			
レ	9	東田 俊太			
レ	10	松笠 寿紀			
11	11	宮田 良希			
	12	西辺 寛太 GK			
23	13	田島 楓祈			
	14	八木 健四郎			
レ	15	山下 雄舞			
	16	喜多 徠斗			
	17	清水 悠翔			
	18	安藤 莉央			
コーチ					

監 督 松尾佳彦
アンパイア 小原 直也
スコアリングジャッジ 苅谷 和代
T O 中野 典子

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
レ	1	井上 辰彦 GK			
レ	2	田中 竜次 C			
レ	3	仲村 颯真			
16	4	河原 元			
レ	5	中口 一輝			
レ	6	道端 晴也			
レ	7	大西 礼斗			
レ	8	柳原 一輝			
レ	9	酒井 琳太郎			
レ	10	林 夏綱			
レ	11	宮脇 壮史			
16	12	鶴田 大悟 GK			
6	13	紅盛 竜雅			
6	14	葉狩 大翔			
レ	15	藤田 大獅			
6	16	小坂 洋介			
	17	平木 大智			
	18	村 佳大			
コーチ		今嶋俊介			

監 督 尾崎孝明
アンパイア 三角 楓
タイミングジャッジ 花部 正人
リザーブアンパイア 佐々木 悠介

得点【種類：FG＝フィールドゴール、PC＝ペナルティコーナー、PS＝ペナルティストローク】																						
チーム	時間	No.	種類	得点				チーム	時間	No.	種類	得点				チーム	時間	No.	種類	得点		
八頭	51	10	FG	0	-	1																
八頭	54	5	PC	0	-	2																

特記事項：

日本ホッケー協会

日本ホッケー協会

チーム名	天理高等学校	0	0	1	Q	0	2	チーム名	鳥取県立八頭高等学校
			0	2	Q	0			
			0	3	Q	0			
			0	4	Q	2			

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
レ	1	井上 辰彦 GK			
レ	2	田中 竜次 C			
レ	3	仲村 颯真			
16	4	河原 元			
レ	5	中口 一輝			
レ	6	道端 晴也			
レ	7	大西 礼斗			
レ	8	柳原 一輝			
レ	9	酒井 琳太郎			
レ	10	林 夏綱			
レ	11	宮脇 壮史			
16	12	鶴田 大悟 GK			
6	13	紅盛 竜雅			
6	14	葉狩 大翔			
レ	15	藤田 大獅			
6	16	小坂 洋介			
	17	平木 大智			
	18	村 佳大			
コーチ		今嶋俊介			

監 督 尾崎孝明
アンパイア 三角 楓
タイミング ジャッジ 花部 正人
リザーブ アンパイア 佐々木 悠介

[illegible]

戦 評：

第1Q、天理のセンターパスにより試合が開始される。八頭#11宮脇がサークル内にいる#14葉狩に合わせてセンタリングを打つが得点には至らない。八頭はその後も、左サイドからのサークル侵入を試みるが、天理の堅い守備に阻まれる。天理はロングボールを繋ぎチャンスを作るも得点には至らず、0-0第1Qが終了。

第2Qに入り、開始早々、八頭の猛攻が続く。#10林がリバースシュートを放つも枠を捉えることができない。8分、天理がPCを獲得、天理#5曽根がフリックシュートを放つも八頭GK#12鶴田が好セーブを見せる。八頭はサークルまでボールを運びチャンスを作り出すが、最後に合わせることができず得点には繋がらない。両者無得点のまま前半戦が終了。

第3Qに入り、33分、八頭がPCを獲得、八頭#10林がフリックシュートを放つも、天理DFの体を張った守備により、得点を許さない。36分、天理がPCを獲得、チャンスを作り出すが生かすことができない。その後も、天理がプレスカットから天理#2喜多がサークルに侵入し、リバースシュートを放つも枠を捉えられず、0-0で第3Qが終了。

第4Qに入り、51分、八頭#9酒井が左から回り込みパスしたボールを#10林がゴールに押し込み、待望の先制点を挙げる。勢いづいた八頭は54分、PCを獲得、八頭#5中口がフリックシュートをゴールの右上に決め、0-2で八頭が勝利し明日行われる準決勝へ駒を進めた。